

広聴広報 特別委員会 からの報告

テーマは参加者から 第10回「井戸ばた会議」

「町民と議員との対話」
8月28日(火)、バスターミナルにて「第10回井戸ばた会議」町民と議員との対話」を開催しました。



今回は、参加された方にテーマを出していただき、出されたテーマごとにグループを作りました。参加者は興味のあるグループに参加することができ、時



間内はグループ移動可能という方法で対話を行いました。

出されたテーマは次の4題です。

- ・ 高齢者施設の不安
- ・ 議員のなり手不足
- ・ 町立病院の病床数の変更
- ・ 子育て

13名の方に参加していただき、多様なご意見をいただきました。全てを網羅することは叶いませんが、一部をご紹介します。

高齢者施設の不安	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設入所の不安がある。待機者が多い。 ・ 高齢者を抱える家族の一番の不安。 ・ あけぼの園等、施設入所時の優先順位は地元住民を優先するのが大事ではないか。 ・ 高齢者の流出データが必要である。
議員のなり手不足	<ul style="list-style-type: none"> ・ 誰もが出られるように。 ・ 定数増と報酬増によってなり手が現れるのではないか。 ・ 議員の兼職、兼業はできないのか。 ・ 女性が議員になって意見を伝えてほしい。女性枠があっても良いのでは。 ・ 住民の声が反映した実感がないから無関心になる。
町立病院の病床変更	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般病床に変更するのは財源的な事か。 ・ 政策である中で、なぜこの時期なのか。 ・ 従前と変わらないとの説明であるが、お年寄りに不安が生じないように。 ・ 病院だけのことをやってもダメである。 ・ 保健、医療、福祉の充実が基本。
子育て	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児センターの一時預かり保育は仕事が理由では預けられない。もっと充実して欲しい。 ・ 虫よけスプレーの臭いが苦手な人もいるので「森の遊び」では下川産の虫よけを使用するなど配慮できないか。 ・ PTAや幼児センターの父母会は行事だけではなく、もっと子どもの教育なども話し合える場に。 ・ 同じクラスに障がい児がいることを知らなかったが、それは個人情報のため？知っていれば配慮などもできる。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 街中にお風呂が欲しい。 ・ 役場職員のネームバッジをプラスチックではなく木製にしてはどうか。